

開設年度		開講部局	
2015		共通教育	
科目名			
生き方 稲盛和夫の人生観			
英語科目名			
way of life			
前後期	開講区分	科目形態	単位数
後期	毎週	講義	2
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類	
b. 知力：人文・社会科学		12. 社会を学ぶ	
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分	
教養科目		人間教育科目	
受講学部学科			
全学部全学科			
担当教員		担当教員所属	
神田嘉延		稲盛アカデミー	
連絡先 (TEL)		連絡先 (MAIL)	
099 - 285 - 3755		k6820452@kadai.jp	
オフィスアワー (授業時間外の対応)			
水曜日14:30~16:00			
共同担当教員			
メインキーワード		サブキーワード	
自己の確立			
授業概要 (目的・内容・方法)			
<p>若者の生きた方を考えていくうえで、道徳の内容論を日本の伝統的な文化や思想を国際的な視野からみていく。</p> <p>これらは、生き方についての学問的な知識材料を提供し、受講生が広く知識をもって主体的に生き方を考えられるようにすることが目的である。この際に、稲盛和夫の人間観から、市場経済の道徳問題と利他精神、稲盛和夫の人間発達観、二一世紀の社会的正義、稲盛経営哲学とモラル問題、稲盛和夫の青年時代の苦悩の史実提供を出発点にして授業を展開していく。</p> <p>さらに、授業の展開は、現代社会と道徳問題、道徳教育についての思想的、文化史的紹介をしていく。</p>			
学習目標			
<p>学生が生き方を深く考えていけるような思想的、哲学的な知識と現代社会の道徳問題を深く考えるようにすることが授業の学習目標である。生き方を考えていくうえで、多面的な視野や自分のしっかりした軸が築けるような材料を提供し、学生が主体的、自主的に人生をみつめ、確立できるように手助けの一分野として、学習目標を位置づけている。</p>			
授業計画・試験の有無 (16回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 資本主義と道徳教育の課題 稲盛和夫の人間観と日本の道徳教育の特徴から 1 2. 資本主義と道徳教育の課題 稲盛和夫の人間観と日本の道徳教育の特徴から 2 3. 資本主義と道徳教育の課題 稲盛和夫の人間観と日本の道徳教育の特徴から 3 4. 資本主義と道徳教育の課題 稲盛和夫の人間観と日本の道徳教育の特徴から 4 5. 思いは必ず実現する・感謝の気持ちを忘れない 1 6. 思いは必ず実現する・感謝の気持ちを忘れない 2 7. 学校・大学で何を学ぶか 1 8. 学校・大学で何を学ぶか 2 9. 不運にへこたれるな 1 10. 不運にへこたれるな 2 11. 日本の道徳と生き方の思想的・内容的 1 12. 日本の道徳と生き方の思想的・内容的 2 			

- 13.日本の道徳と生き方の思想史的内容論 3
- 14.日本の道徳と生き方の思想史的内容論 4
- 15.日本の道徳と生き方の思想史的内容論 5
- 16.期末試験は実施しない

授業外学習(予習・復習)

(予習) 文献を参考に一読すること (復習) 授業の中身をまとめる作業をすること

受講要件	成績の評価基準
なし	授業の理解度と創造性40%、 小レポート60%
教科書	参考書
『君の思いは必ず実現する』 稲盛和夫	『生き方』 稲盛和夫 『人生の王道』 稲盛和夫
地域志向科目の区分(平成27年度入学生用)	地域志向科目の領域

その他